

愛知県広報誌「愛知の引力。3rd Edition」

平成 29 年度版愛知の広報誌「愛知の引力。3rd Edition」が 7 月 31 日に発行され、愛知の魅力として「四谷の千枚田」も題材として大きく採り入れられました。

広報誌概要

① タイトル

(日本語) 愛知の引力 3rd Edition

(英語) Allure Aichi 3rd Edition

(中国語) 愛知的吸引力 3rd Edition

② 構成内容

愛知に興味・関心があるけれど愛知のことをよく知らない方や、そもそも愛知のことをよく知らない方向けに入門書として活用頂けるよう、日本語版では、愛知の魅力を「技」、「景」、(景色)、「躍」(スポーツ)、「文」(文化)、「史」(歴史)、の 5 つのテーマに分けて制作、また、外国語版は桜・城・忍者等の写真のページを増やし、写真を大きく掲載する等、今まで以上に外国人の関心を惹きつける内容にしています。



③ 企画・部数 A4判、24頁、4色カラー

日本語 45,000部・英語 10,000部・中国語 5,000部

④ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/koho/0000087303010.html>

四谷の
千枚田だより



第 168 号



第23回全国棚田サミットは は さ み ち ょ う 長崎県波佐見町で!

平成 29 年
9 月 28 日(木)
~ 29 日(金)



兎木の棚田



念仏踊り 連谷集落には身平橋組の西組共進連と方瀬・真菰組の方真連の二

つの念仏踊りが継承されている。〓八月十三日、夜七時から海源寺、八月十

四日は初盆の丸地長利宅、原田恵稔宅と方瀬公会堂で行われた〓

念仏踊りは災厄退散や亡魂鎮送のために行われる盆行事で、正月と並んで
日本民族の二大祖霊祭ともいべき伝統行事である。

身平橋の「はねこみ」は過去に名古屋市公会堂、豊橋市公会堂、新城文化
会館、また、愛知万博では日本のロックバンドの草分け的存在の「ゴダイゴ」

と共演、二十三年には全国民族学
会五十周年記念出演、二十五年に
は伝統文化地域交流公演、雄踏文
化会館出演等々、中老衆・若い衆
共々「はねこみ」を披露してきた。



棚田の百姓は

アーティストだ

棚田の朝、五時近くになるとビイ
ビーとバイクに乗った百姓が田ん
ぼの水廻りに集まってくる。会うと
イノシシやシカの悪たれ話や「俺の
背丈は縮むが、草ばっかり伸びてし
よんない」などの愚痴が挨拶代わり
だ・時には「誠ちゃ」の草刈りに
も飛び火、「あんねに、ずんべらぼ
うでツルテツカンに刈られちゃあ
草もたまつたもんじゃあない」とか
「バカに今年に変な草が生えるが、
なんでずらかノン・、そりゃあ、
あんたあ、上に種場があるだでしよ
んないわいノン」などと話は尽きな
い。何んにしても、先祖にアト心
があつたのか急傾斜地の地形をう
まく活かした幾何模様の芸術的な
小田んぼばっかした。おかげで棚田
の百姓は平場の百姓のように単調
でなく、余分な頭を使う。毎年、毎
年、過酷な条件にチャレンジ、「今
年はよかつた」などと聞いたことも
ないし、シカやサル、イノシシとの
駆け引き、知恵比べに歳を取ってお
る暇もない。今年こそは、今年こそ
はと毎年チャレンジするものの中
々どうして・だから、棚田の百姓
は「アーティスト」なんだ。



備忘欄

平成十七年十月一日、鳳来町・作
手村が新城市と合併し、改めて新城市
が発足。同日、南設楽郡は消滅。

今後の予定

稲刈り
九月七日、豊橋調理製菓専門学校
九月十六日、新城高校農業クラブ

行 平成二十九年八月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二